

4 生産額の産業別特化係数

産業別の生産額を特化係数で見ると、全国水準を上回っているのは、電気・ガス・水道、製造業、建設となっている。

全国と比べて生産額の構成比が高い産業を特化係数で見ると、電気・ガス・水道（1.69）、製造業（1.40）、建設（1.03）が1（全国の産業別構成比）を上回っている。

製造業の中では、非鉄金属（4.15）、化学製品（3.36）、金属製品（2.92）、生産用機械（2.68）、電子部品（2.38）の特化係数が大きくなっている。

一方、特化係数が最も小さいのは情報通信（0.56）であり、次いで商業（0.73）、公務（0.76）の順となっている。

特化係数

地域分析において、産業構造がどの分野に偏っているかを表すもので、全国との比較を行う場合によく使われる。ここでは、富山県の各産業の構成比を、全国の構成比で除したものである。

係数が大きいほど、その産業に特化しているといえる。

表1 産業別特化係数

(全国水準=1)

	平成27年	令和2年		平成27年	令和2年
01 農林漁業	0.79	0.81	電子部品	2.58	2.38
02 鉱業	1.48	0.84	電気機械	0.27	0.29
03 製造業	1.35	1.40	情報通信機器	0.12	0.16
飲食料品	0.70	0.67	輸送機械	0.28	0.26
繊維製品	1.62	1.37	その他の製造工業製品	1.65	1.71
パルプ・紙・木製品	1.96	2.03	事務用品	0.90	0.94
化学製品	3.40	3.36	04 建設	1.07	1.03
石油・石炭製品	0.04	0.05	05 電気・ガス・水道	1.75	1.69
プラスチック・ゴム製品	1.59	1.46	06 商業	0.83	0.73
窯業・土石製品	1.34	1.35	07 金融・保険	0.86	0.87
鉄鋼	0.72	0.83	08 不動産	0.80	0.88
非鉄金属	4.09	4.15	09 運輸・郵便	0.73	0.80
金属製品	2.78	2.92	10 情報通信	0.62	0.56
はん用機械	1.57	1.38	11 公務	0.80	0.76
生産用機械	2.59	2.68	12 サービス	0.80	0.85
業務用機械	0.55	0.53	13 分類不明	1.04	0.63
			産業計	1.00	1.00

注：製造業の内訳は37部門表による。

図1 産業別特化係数

(全国水準=1)

